

谷内こうた展 風のゆくえ

＜同時開催＞ちひろ 子ども百景

2023年6月24日(土)～10月1日(日)

ちひろ美術館・東京 展示室1・2

主催：ちひろ美術館 協力：谷内富代、至光社、平凡社、ギャラリー杉野
後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書
評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教
育委員会、西東京市教育委員会、練馬区



1-1 『なつのあさ』(至光社)より 1970年(ちひろ美術館寄託)

欧州からのたより

谷内こうたは、1971年、23歳のときに3作目の絵本『なつのあさ』で日本人として初めてポローニャ国際児童図書展でグラフィック賞を受賞、鮮烈なデビューを果たしました。そぎ落とされた絵と詩のようなことばで展開していく絵本は、ヨーロッパや日本で驚きをもって迎えられました。移り行く光や空気を色の変化であらわし、現実と架空の世界を自由に行き来する谷内の絵本は、今も見るものを魅力し続けています。

ドイツやフランスの四季折々の自然や街並みの風景を愛した谷内は、35歳のときに家族とともにノルマンディーに移住し、アトリエを構えて数多くの油彩画を描きました。

本展は、2019年に71歳で亡くなった谷内の、絵本原画や、初公開作品も含めた雑誌の表紙絵、タブローなどを写真や資料とともに展示し、その画業の全体像を紹介します。

谷内こうた (1947～2019)

神奈川県に生まれる。多摩美術大学油絵科進学後、家業のろうけつ染めを手伝う。20歳のときに、叔父の谷内六郎のすすめで初めての絵本の絵を描き(『ぼくのでんしゃ』『おじいさんのばいおりん』)至光社の武市八十雄に認められ、同社より出版。1971年に『なつのあさ』でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。同年に渡欧し、油彩画の制作を中心に活動。『のらいぬ』『つきとあそぼう』にて1979年、1981年BIB金のりんご賞受賞。2019年ルーアンにて没。



展覧会の見どころ

幅広い画業を紹介する初の回顧展

谷内こうたは絵本、雑誌の表紙絵、タブローなど、さまざまな媒体に描き続けた画家でした。本展では、彼の初期から晩年の作品までを一堂に展示します。

世界が称賛した斬新な絵本

叔父・谷内六郎のすすめで初めて絵本の絵を描きデビューした谷内は、1971年のポーロニャ国際児童図書展グラフィック賞をはじめ、1998年『にちようび』でスイス、エスパース・アンファン国際図書賞特別賞を受賞するなど、その静謐で詩のような絵本は数々の国で紹介されてきました。

初公開 ドイツで描かれた初期の油彩画

20代前半で谷内こうたは初めてヨーロッパへ渡り、ドイツに滞在します。その時に集中的に描いていた貴重な初期の油彩画を初公開します。

出展作品数

約90点

主な出展作品

- ・『のらいぬ』(至光社) 1973年(個人蔵)
- ・『なつのあさ』(至光社) 1970年(ちひろ美術館寄託)
- ・『あのおとなんだ』(至光社) 1971年(ちひろ美術館蔵)
- ・『つきとあそぼう』(至光社) 1979年(個人蔵)
- ・テーブルのすぐりの実 1971-73年(個人蔵)
- ・『すいぞくかん』(講談社) 1987年(個人蔵)
- ・『あおいふね』(講談社) 1983年(個人蔵)
- ・『どんなみち』(至光社) 2003年(個人蔵)
- ・『ぼくたちのやま』(至光社) 2018年(個人蔵)

関連書籍

公式図録『谷内こうた 風のゆくえ』 平凡社 2,200円(税別)



1-2 宿の裏庭 1978年(個人蔵)



1-3 『のらいぬ』(至光社)より 1973年(個人蔵)



1-4 テーブルのすぐりの実 1971-73年(個人蔵)



1-5 『あおいふね』(講談社)より 1983年(個人蔵)



1-6 『ぼくたちのやま』(至光社)より 2018年(個人蔵)



1-7 『つきとあそぼう』(至光社)より 1979年(個人蔵)

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

- ※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- ※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 入口・松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (お客様問い合わせ先)

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

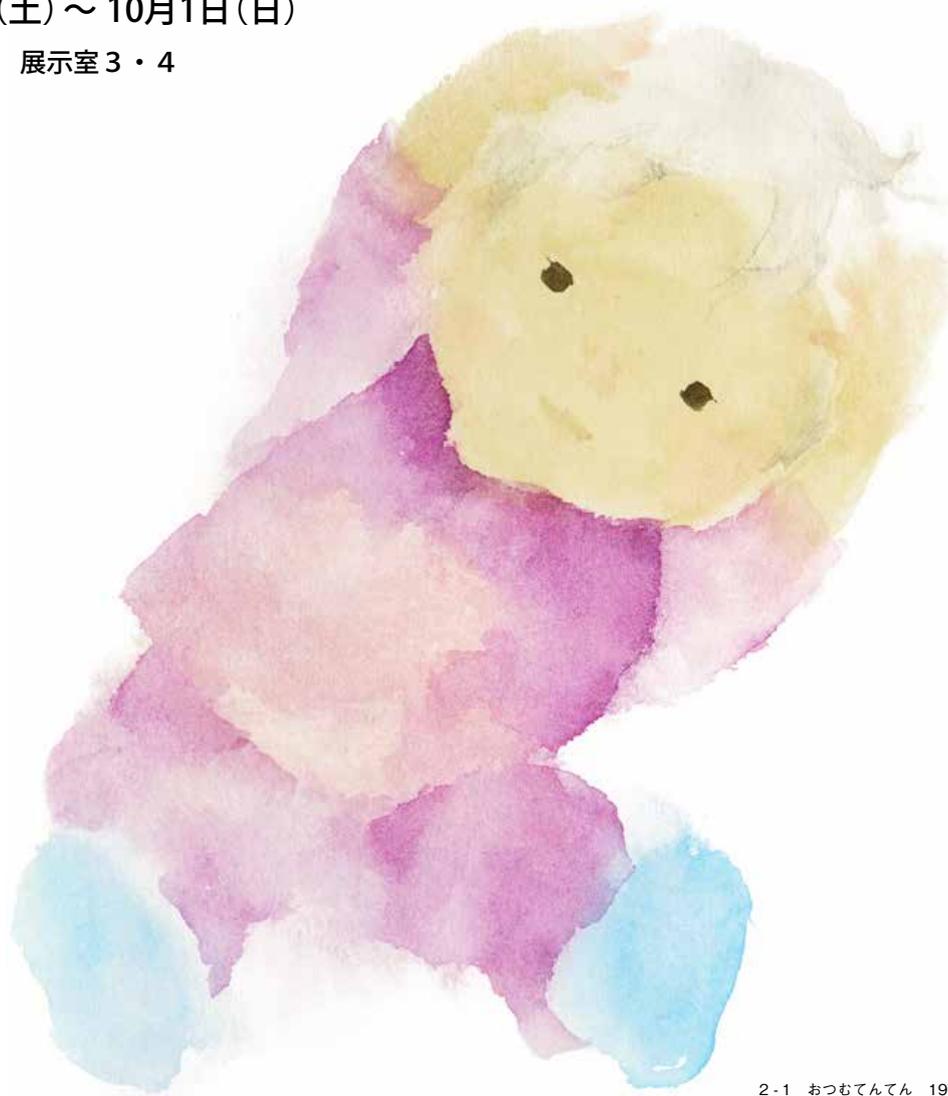
ちひろ 子ども百景

＜同時開催＞谷内こうた展 風のゆくえ

2023年6月24日(土)～10月1日(日)

ちひろ美術館・東京 展示室3・4

主催：ちひろ美術館



2-1 おつもてんてん 1971年

どこにいるの？なにしているの？ 愛らしいあかちゃんや子どもが大集合！

やわらかな髪やふっくらとした肌、つぶらな瞳、短い手足に愛くるしい仕草……ちひろの描くあかちゃんや子どもは、いきいきとした魅力にあふれています。ちひろは、10ヵ月と1歳のあかちゃんの月齢を描き分けることができたといいます。こうした絵は、子育てのなかで息子やその友だちが遊ぶようすをスケッチし、また育児書のためのたくさんのカットを描いたなかで生み出されました。

本展では、息子をモデルにしたスケッチや季節のなかで遊ぶ子どもたちを描いた作品、ちひろ自身の姿とも重なる少女像、絵本『ぼちのきたうみ』などを展示するほか、医師・松田道雄(1908～1998)の育児書『私は赤ちゃん』『育児の百科』などの仕事にも注目します。まさに子ども百景！たくさんのあかちゃんや子どもたちとの出会いをお楽しみに。

展覧会の見どころ

母のまなざし—息子をモデルに

1951年、32歳で母親となったちひろは、1956年に息子・猛をモデルに初の絵本『ひとりのできるよ』を制作、また1950年代から60年代半ばにかけての絵雑誌にも、息子やその友だちなど身近な子どもたちが登場します。

ちひろの少女像

「子どもを描いていると、自分の小さいときのことを描いているという感じがします」と語ったちひろ。ときに画家自身の姿とも重なるような、ちひろが描いた少女像の代表作を紹介します。

夏休み！輝く夏の海と空と

絵本『ぼちのきたうみ』は、夏休みをおばあちゃんの家で過ごす少女が、愛犬ぼちの到着をまちわびるようすを描いた作品です。夏の空と海の輝きや少女と小犬の生命感あふれる姿が、大胆な筆づかいと鮮やかな色彩で表現されています。

あかちゃんがいっぱい！

『私は赤ちゃん』『私は二歳』『育児の百科』など、松田道雄との育児書の仕事に注目します。寝返り、おしゃぶり、ハイハイ、つかまり立ち……あかちゃんや幼い子どもの愛らしい姿のカットが大集合、拡大パネルでの紹介もあります。



2-2 指人形で遊ぶ子どもたち 1966年



2-3 海を見つめる少女 1973年

出展作品数

約60点

※展示室4では、ピエゾグラフによる展示を行います。

主な出展作品

- ・『ぼちのきたうみ』（至光社）1973年
- ・副読本「しょうがくしゃかい1 たろうとはなこ」（日本書籍）1971年
- ・『私は赤ちゃん』（岩波書店）1959年
- ・『私は二歳』（岩波書店）1960年
- ・『家庭の教育2 幼年期』（岩波書店）1965年
- ・『家庭の教育3 少年期』（岩波書店）1965年
- ・『育児の百科』（岩波書店）1967年

2-4 小犬を抱く少女
『ぼちのきたうみ』（至光社）より
1973年2-5
おもちゃとハイハイしようとするあかちゃん
『育児の百科』（岩波書店）より 1967年2-6 新聞紙で遊ぶあかちゃん
『育児の百科』（習作）1967年2-7 ころがって指しゃぶりをするあかちゃん
『家庭の教育2 幼年期』（岩波書店）より 1965年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

- ※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- ※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 入口・松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (お客様問い合わせ先)

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

「ちひろ 子ども百景」展示関連イベント

●わらべうたあそび

日時：7月15日(土) 11:00～11:40

講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)

参加費：無料(入館料別)／対象：0～2歳児と保護者

定員：8組16名

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて6/15(木)より受付開始)

リズムにあわせて体を動かしたり、声を出して歌ったり。物語への入り口となる「わらべうた」を親子で楽しみましょう。

●松本猛ギャラリートーク

日時：8月6日(日) 14:00～

講師：松本猛(ちひろ美術館常任顧問)

参加費：無料(入館料別)／定員：15名／申し込み：当日受付

いわさきちひろのひとり息子・松本猛によるギャラリートーク。展示作品を見ながら、母・ちひろとの思い出や展示の見どころなどをお話します。

●ちひろ忌・アトリエトーク

日時：8月8日(火) 11:00～／14:00～

参加費：無料(入館料別)／定員：各回15名／申し込み：当日受付

ちひろの命日に、館内の「ちひろの復元アトリエ」にて、愛用の品々や制作の舞台裏、家族との日々の暮らし、そして作品の技法などについて当館スタッフがお話します。

会期中のイベント

●開館記念日・たてもの探検ツアー

日時：9月10日(日) 11:00～

参加費：無料(入館料別)

ちひろ美術館・東京の建物(設計・内藤廣)に込められた想いと見どころを、当館スタッフが参加者とともに館内を巡りながら解説いたします。

●敬老の日

日時：9月18日(月・祝)

65歳以上の方はこの日入館が無料となります。(受付にてお申し出ください。)

●絵本のじかん

第2・第4土曜日 11:00～

参加費：無料(入館料別)／定員：15名／申し込み：当日受付

協力：NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)

季節や展示にあわせ、毎回テーマにそった絵本の読み聞かせを行います。あかちゃんから大人まで、どなたでもご参加いただけます。

でんぐり返しをしようとするあかちゃん
1966年

※開館情報、会期、展示名、イベント内容などは予告なく変更する可能性があります。

「谷内こうた展 風のゆくえ」展示関連イベント・情報

●講演会：ボンジュール こうたさん! 一父と絵本の旅一

日時：7月9日(日) 14:00～15:00

講師：谷内草(ガリマール出版社児童局)／参加費：800円(入館料別)

定員：会場20名(オンライン80名)

申し込み：6月9日(金)より当館公式サイト、およびpeatixにて受付開始

●鼎談：編集者が語る谷内こうたと絵本の魅力

日時：9月10日(日) 14:00～15:30

講師：市河紀子(フリーランス編集者)、千葉美香(偕成社編集部)、柴田こずえ(フリーランス編集者)

参加費：800円(入館料別)／定員：会場20名(オンライン80名)

申し込み：8月10日(木)より当館公式サイト、およびpeatixにて受付開始

●ギャラリートーク

第1・第3土曜日 14:00～

参加費：無料(入館料別)／定員：15名／申し込み：当日受付

当館学芸員が開催中の展覧会の見どころなどをお話します。

●展覧会オリジナルグッズ

谷内こうた展開催に合わせ、数量限定で美術館オリジナルのポストカード6種(税込各165円)および二柄一筆箋(税込495円)を販売いたします。

展覧会基本情報

展覧会名	谷内こうた展 風のゆくえ ちひろ 子ども百景
会期	2023年6月24日(土)～10月1日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで) ○休館日＝月曜日(祝日は開館、翌平日休館)
入館料	大人1000円／高校生以下無料 団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方は800円／障害者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料／年間パスポート3000円
交通	○電車の場合＝西武新宿線 上井草駅下車徒歩7分 ○バスの場合＝JR中央荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分／西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分

次回展示予告

10月7日(土)～2024年1月14日(日)

ちひろ美術館セレクション

2010→2021 日本の絵本展

いわさきちひろ やさしさと美しさと